

脳血管リハビリテーション

脳血管疾患の取り組み

➤ 超急性期からの早期離床

脳血管疾患を発症された後、できるだけ早期に離床を行うことが回復を促進するために重要です。当院では、超急性期から積極的にリハビリを開始し、早期に身体機能の回復をサポートします。早期離床は合併症予防や循環機能の改善にも寄与します。

➤ リスク管理と医師・病棟との密なコミュニケーション

リハビリテーションを行う上でのリスク管理は非常に重要です。医師や病棟スタッフと密に連携を取りながら、患者様の状態を常に把握し、個別のリスクに配慮したリハビリを実施します。安全を最優先に患者様が安心してリハビリを受けられる環境を整えています。

機材・場所の拡充



膝継手: SPEX
足継手: GAITSOLUTION

病棟にリハビリ室ANNEX開設

脳卒中病棟にリハビリ室を設けたことにより、十分なリスク管理のもと、積極的な介入が可能となりました。ティルト台や長下肢装具も常備しており、質の高い急性期リハビリテーションを行える環境が整っています。

長下肢装具の新調

GAIT INNOVATION
MODULAR LEG BRACE **NEO**

密な他職種連携

- 脳神経外科・脳血管内科医師とのconference
- 病棟看護師とのconference
- 病棟ADL・ケアconference
- 退院支援conference

毎朝、医師や看護師と情報共有を行うだけでなく、必要に応じて病棟内ADL向上目的のconferenceや退院に向けて相談室やSWを交えたconferenceなど、患者さんにとって最適な医療を提供できるように取り組んでいます。

